

2024年1月28日

## 主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒508番（旧243番）（TM兄）

『イエスとともにわれ死に』

聖書⇒詩編23編（KH姉）

『主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。  
主はわたしを青草の原に休ませ／憩いの水のほとりに伴い  
魂を生き返らせてくださる。主は御名にふさわしく／わたしを正しい道に導かれる。  
死の陰の谷を行くときも／わたしは災いを恐れない。あなたがわたしと共にいてくださる。  
あなたの鞭、あなたの杖／それがわたしを力づける。  
わたしを苦しめる者を前にしても／あなたはわたしに食卓を整えてくださる。  
わたしの頭に香油を注ぎ／わたしの杯を溢れさせてくださる。  
命のある限り／恵みと慈しみはいつもわたしを追う。  
主の家にわたしは帰り／生涯、そこにとどまるであろう。』

礼拝讃美歌⇒331番（旧253番）

『主イエスはわれの』

聖書⇒詩編30:5~6節（ES姉）

『主の慈しみに生きる人々よ／主に賛美の歌をうたい／聖なる御名を唱え、感謝をささげよ。  
ひととき、お怒りになっても／命を得させることを御旨としてくださる。  
泣きながら夜を過ごす人にも／喜びの歌と共に朝を迎えさせてくださる。』

聖書⇒詩編47:2節

『すべての民よ、手を打ち鳴らせ。神に向かって喜び歌い、叫びをあげよ。』

（祈）

礼拝讃美歌⇒478 番 (SK 姉)

『何ゆえ御神は』

《パン裂き》

聖書⇒ルカによる福音書 22:14~20 節 (KH 兄)

『時刻になったので、イエスは食事の席に着かれたが、使徒たちも一緒だった。イエスは言われた。「苦しみを受ける前に、あなたがたと共にこの過越の食事をしたいと、わたしは切に願っていた。言っておくが、神の国で過越が成し遂げられるまで、わたしは決してこの過越の食事をとることはない。」そして、イエスは杯を取り上げ、感謝の祈りを唱えてから言われた。「これを取り、互いに回して飲みなさい。言っておくが、神の国が来るまで、わたしは今後ぶどうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい。」それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい。」食事を終えてから、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約である。』

(式)

礼拝讃美歌⇒145 番 (旧 60 番)

『主イエスよわれらは』

《建徳》

聖書⇒ローマの信徒への手紙 10:5~7 節 (NH 兄)

『モーセは、律法による義について、「掟を守る人は掟によって生きる」と記しています。しかし、信仰による義については、こう述べられています。「心の中で『だれが天に上るか』と言ってはならない。」これは、キリストを引き降ろすことにほかなりません。また、『だれが底なしの淵に下るか』と言ってもならない。」これは、キリストを死者の中から引き上げることとなります。』

聖書⇒レビ記 18:5 節

『わたしの掟と法とを守りなさい。これらを行う人はそれによって命を得ることができる。わたしは主である。』

聖書⇒マルコによる福音書 10:17 節

『イエスが旅に出ようとされると、ある人が走り寄って、ひざまずいて尋ねた。「善い先生、永遠の命を受け継ぐには、何をすればよいでしょうか。』

聖書⇒ガラテヤの信徒への手紙 3:11 節

『律法によってはだれも神の御前で義とされないことは、明らかです。なぜなら、「正しい者は信仰によって生きる」からです。』

聖書⇒申命記 30:11~12 節

『わたしが今日あなたに命じるこの戒めは難しすぎるものでもなく、遠く及ばぬものでもない。それは天にあるものではないから、「だれかが天に昇り、わたしたちのためにそれを取って来て聞かせてくれれば、それを行うことができるのだが」と言うには及ばない。』

聖書⇒マタイによる福音書 7:13~14 節

『「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。』

聖書⇒ペトロの手紙一 1:1~2 節 (KH 兄)

『イエス・キリストの使徒ペトロから、ポントス、ガラテヤ、カパドキア、アジア、ビティニアの各地に離散して仮住まいをしている選ばれた人たちへ。あなたがたは、父である神があらかじめ立てられた御計画に基づいて、“霊”によって聖なる者とされ、イエス・キリストに従い、また、その血を注ぎかけていただくために選ばれたのです。恵みと平和が、あなたがたにますます豊かに与えられるように。』

聖書⇒申命記 7:6~8 節

『あなたは、あなたの神、主の聖なる民である。あなたの神、主は地の面にいるすべての民の中からあなたを選び、御自分の宝の民とされた。選ばれたのは、あなたたちが他のどの民よりも数が多かったからではない。あなたたちは他のどの民よりも貧弱であった。ただ、あなたに対する主の愛のゆえに、あなたたちの先祖に誓われた誓いを守られたゆえに、主は力ある御手をもってあなたたちを導き出し、エジプトの王、ファラオが支配する奴隷の家から救い出されたのである。』

聖書⇒ペトロの手紙二 1:1 節

『イエス・キリストの僕であり、使徒であるシメオン・ペトロから、わたしたちの神と救い主イエス・キリストの義によって、わたしたちと同じ尊い信仰を受けた人たちへ。』

聖書⇒出エジプト記 24:8 節

『モーセは血を取り、民に振りかけて言った。「見よ、これは主がこれらの言葉に基づいてあなたたちと結ばれた契約の血である。』

礼拝讃美歌⇒9 番 (旧 6 番) (KH 兄)

『取柄あらぬ』

《建德要旨》